

プリンヌクレオシドホスホリラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-0644

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 プリンヌクレオシドホスホリラーゼは、プリン代謝に関与する酵素です。PNPはアデノシンをアデニンに、イノシンをヒポキサンチンに、グアノシンをグアニンに代謝します。PNP遺伝子の欠失は、プリンヌクレオシドホスホリラーゼ欠乏症の原因となります。

用途 プリンヌクレオシドホスホリラーゼは、ヌクレオチド回収経路とプリン代謝を研究するために使用されます。プリンヌクレオシドホスホリラーゼ欠損症とそれに関与するPNP遺伝子欠失を研究するためにも使用されます。この製品は組換えであり、E. coliで発現されています。

別名 プリンヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; イノシンホスホリラーゼ; PNPase; PUNPI; PUNPII; イノシン-グアノシンホスホリラーゼ; ヌクレオチドホスファターゼ; プリンデオキシヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; プリンデオキシリボヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; プリンヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; プリンリボヌクレオシダーゼホスホリラーゼ; EC 2.4.2.1; 9030-21-1

製品情報

由来 E. coli

形態 緩衝水溶液 (100 mMリン酸緩衝液、1 mM MgCl₂を含む)

EC番号 EC 2.4.2.1

CAS登録番号 9030-21-1

活性 > 120 U/mL

単位定義 1 Uは、pH 7.4、25°Cで1μmolのイノシンをヒポキサンチンとリボース1-リン酸にリン酸化分解します。

保管・発送情報

保存方法 -20°C